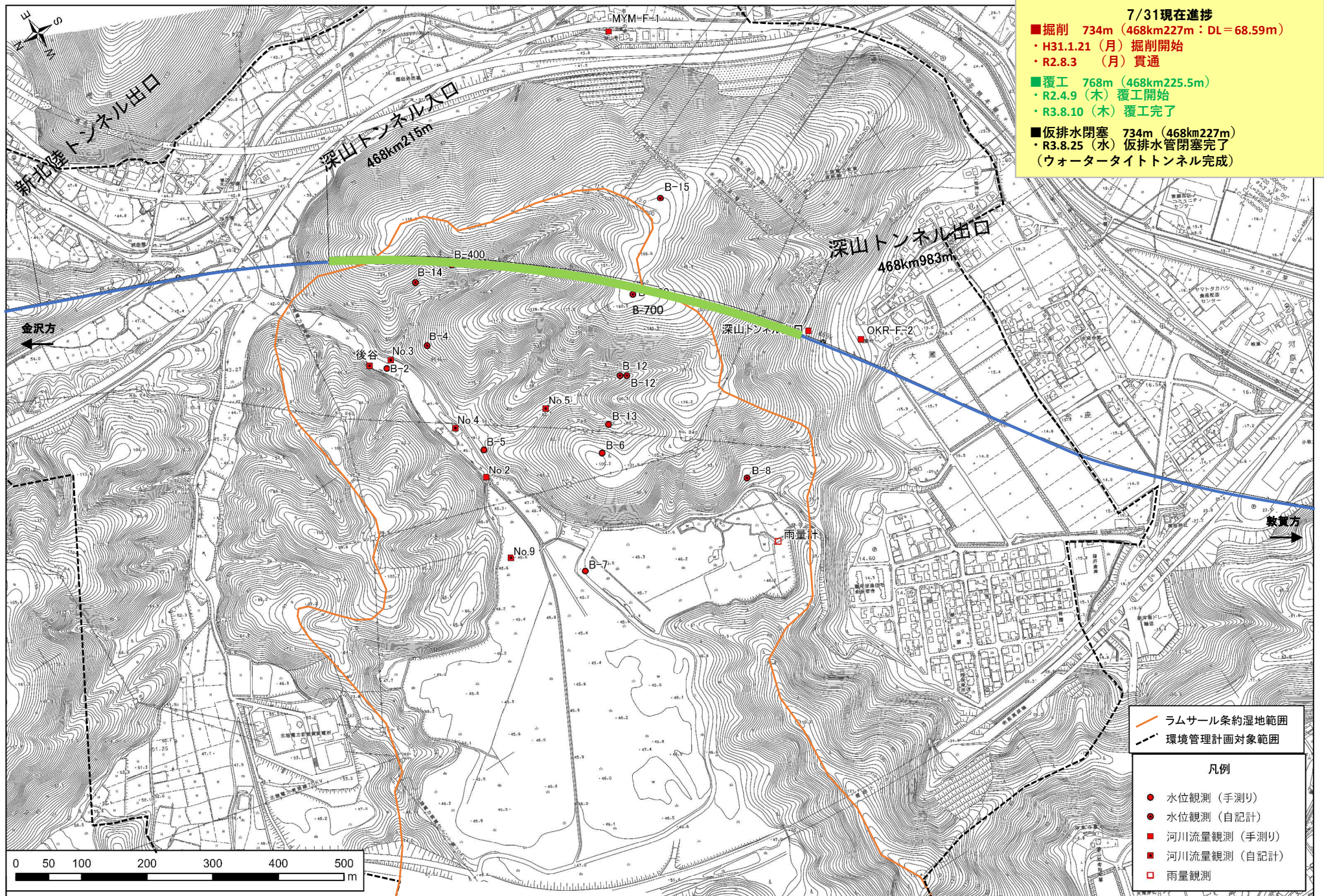


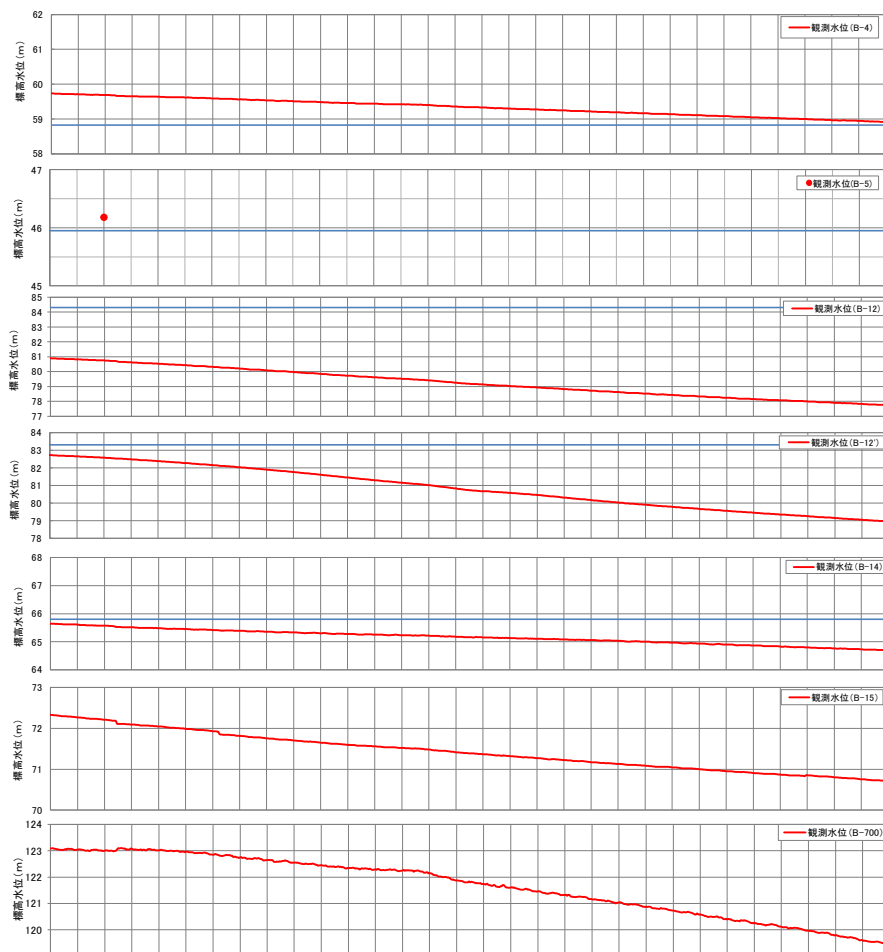
深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和7年7月1日（火）～令和7年7月31日（木）

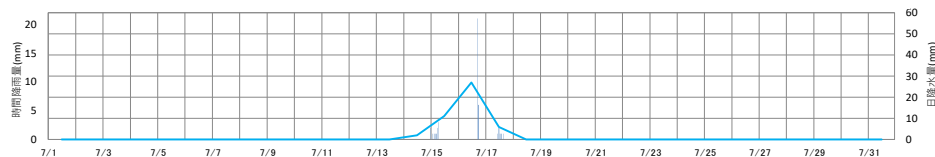
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



※主要箇所のみ抜粋 地下水位観測結果図（自記記録）



流量観測結果図（自記記録）



B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

B-700 地下水位

No. 3 流量

No. 5 流量

全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
 □変動あり（注意体制への移行を検討）

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加：B-12、B-12'、B-15、B-400、B-700以外
 ■2m未満：B-15、B-400
 ■5m未満：B-12、B-12'、B-700 □5m以上：なし

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上 □50mm以上

月降水量

■80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

概 要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-4（自記水位計）：過年度最低水位を上回っている。
- ③B-5（手計り）：過年度最低水位を上回っている。
- ④B-12（自記水位計）：期間中の水位は低下傾向である。過年度最低水位を下回る状況が続くため、今後も注視していく。
- ⑤B-12'（自記水位計）：期間中の水位は低下傾向である。過年度最低水位を下回る状況が認められるため、今後も注視していく。
- ⑥B-14（自記水位計）：期間中の水位は低下傾向である。過年度最低水位を下回るため状況が認められるため、今後も注視していく。
- ⑦B-15（自記水位計）：期間中の水位は低下傾向である。
- ⑧B-700（自記水位計）：期間中の水位は7/5まで横ばいであるが、それ以降は低下傾向となっている。

■流量変動について

- ①No. 3（自記）：期間中の流量は降雨に反応を示し、増加している。期間中、降雨の少ない時期には流量が確認されない。
- ②No. 5（自記）：期間中の流量は0L/minの状態が続く。
 ⇒無降雨・少雨時や大雨の数日後において、当該地点の上流域の沢水は観測地点に達する前に地中に浸透することで、流量の計測値がゼロとなっている状況である。
 ⇒当該地点の上流域で一定の降水量の条件（例えば時間降水量、連続降水量）を満たした時に観測地点で流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①6月の日最大降水量：6/10の44.0mmである。
 ⇒7月の日最大降水量：7/16の27.0mmである。
- ②6月の降水量：214.0mm、7月の降水量：46.0mmである。
 昨年6月は210.0mm、7月は291.0mmである。
 平年値（敦賀アメダス）は6月は144.1mm、7月は204.0mmである。